

大槌町教育委員会だより



育てよう魅力の花

令和2年度「大槌町通学路交通安全プログラム 合同点検・合同協議会」を実施しました

この事業は、通学路の安全確保を行い児童生徒が安全に登下校できるようにすることを主なねらいとして実施しているものです。今年度は、連日熊が出没していることもあり、児童生徒が安心して登下校できるように点検を実施しました。

- 1 実施日 6月30日(火) 11:00～16:45
- 2 参加者
 - ①三陸国道事務所 所長・管理第一係長
 - ②沿岸広域振興局 土木部道路整備課長・技師
 - ③釜石警察署 交通課交通規制係長・生活安全課長・大槌交番所長・吉里吉里駐在所長
 - ④大槌学園 PTA会長・PTA副会長・副校長・教諭
 - ⑤吉里吉里学園 小学部PTA会長・中学部PTA会長・副校長・教諭
 - ⑥大槌町役場 町民課2名・環境整備課2名
 - ⑦大槌町教育委員会 教育長・指導主事2名・教育相談員 以上24名
- 3 点検箇所 吉里吉里学園学区4箇所 大槌学園学区12箇所

4 確認したこと

※点検・協議結果の詳細は後日ホームページに掲載予定です。



新大槌トンネル（大ヶロー三枚堂）
安全への工夫や対策を講じているが工事車両の通行は依然として多い。



吉里吉里踏切（塚花街道）
段差が大きく、埋め込みの木も傷んでいる。

- 点検箇所中、熊が出没しやすい場所は1か所であり、早速草刈りを実施することとなりました。
- 消えかけた横断歩道の整備や、危険な場所への横断歩道の設置など、児童生徒が安心安全に通学できるように今後も点検・協議を続けていきます。

一般社団法人岩手県法人会連合会から 東日本大震災義援金が寄贈されました

7月16日(木)、一般社団法人岩手県法人会連合会より公益社団法人釜石地区法人会を通じて、大槌町立大槌学園に9万円が寄付されました。

公益社団法人釜石地区法人会の事業であります租税教育事業の税に関する絵はがきコンクールに積極的に取り組んでいる学校へ寄付されたものです。

寄付金は、学校備品購入費として活用されます。



(右) 公益社団法人釜石地区法人会 副会長(大槌支部) 後藤力三さん
(左) 大槌学園長 松橋文明さん
(中央) 児童生徒会長 川端光翔さん

大槌高校だより

大槌高校の学校生活や日々の様子を町民のみなさまにお伝えします！



大槌高校 ホームページでも行事の様子を発信しています！

三陸みらい探究で広がる地域・生徒の輪

昨年度から大槌高校独自の授業としてスタートさせた「三陸みらい探究」を、今年度は1～3年の全学年で取り組んでいます。学年の枠を超えての発表や地域の人たちとのつながりなど、様々な広がりも生まれています。今月は、1～3年生の探究活動の様子をお届けします！

1 学年「学園9年生に“自分プレゼン”を発表」



1年生は、自己理解や地域でのフィールドワークを通して自分自身の興味関心を見つけます。4月から自分に影響を与えた出来事や興味のあることについて語る「自分プレゼン」を制作してきました。7月3日に、大槌学園・吉里吉里学園とオンライン通話アプリで接続をし、9年生を相手に「自分プレゼン発表会」を行いました。生徒たちは初めてのオンライン発表に緊張しながらも、画面越しの9年生たちに届くように話し方などを工夫しながら発表しました。

2 学年「地域の専門家に自分のプロジェクトを相談」



2年生は、自分の興味関心をテーマに探究活動を行う「マイプロジェクト」に取り組んでいます。7月1日に実施した「マイプロジェクト・ブラッシュアップデー」では、様々な領域で活躍する20名の方を講師としてお招きし、プロジェクト相談会を行いました。生徒たちは、これまで調査してきたことを発表し、今後どのように活動を進めていけば良いか様々なアドバイスをいただきました。地域の方々とのつながりを活かして、町のボランティアに参加するなど次のアクションを考えていました。

3 学年「後輩&先生に、自分の将来取り組みたいテーマを発表」



3年生は、一人ひとりの将来に向けたテーマで発表を行う「進路実現プロジェクト」に取り組んでいます。6月30日には、後輩の2年生や来校者に向けて、「進学で学びたいこと」や「就きたい職業の未来」について発表を行いました。3年生から後輩に対して、「これまでの探究活動を通して、自分のやりたいことを実現できる楽しさを実感することができた。大変なこともあるかもしれないが、何事にもチャレンジする高校生活を送ってほしい。」というメッセージも伝えられました。